

## 第 157 回東葛しぜん観察会

### 見て聞いて春の印西を楽しもう

平田裕子（柏市）

日時：2019年4月21日（日）9時30分～12時30分、天気：晴れ

場所：花の丘公園・戸神地区（印西市）、担当指導員：小川 田島 平田

参加者：11名 指導員 14名、

春に特有の不安定な天気が続いていて天候が心配されましたが、当日は曇時々晴、風も無く絶好の観察会日和となりました。印西市の行事と重なった影響もあってか、残念ながら参加者は11名と少なめでしたが、開始スタートの挨拶・諸注意と体操の後、2班に分かれて出発しました。

すぐに上空を飛ぶイワツバメに遭遇、ツバメとの違いや東南アジアから繁殖のために飛来してくることなどを説明。イヌシデの虫こぶの説明には、お花かと思ったという声もありましたが、虫こぶを切って実際に中に居る虫（ダニ）を虫眼鏡を使ってしっかり観察していただき、納得の表情でした。

戸神川調節池の観察デッキではカワウ・サギ類のコロニーを観察。カワウの親子の仲睦まじい姿もスコープでじっくり見せることができ、皆さん感激の様子でした。沿道では、ハハコグサ、ナズナ、トウダイグサ、ウワミズザクラ等の植物やナナホシテントウ（蛹や、羽化したばかりの黄色い成虫）も見られ、興味深々で観察に熱が入りました。

戸神宗像神社到着後は、「香取の海」と呼ばれた古くからの房総の地形や歴史を説明、遠くに見える印旛沼もふくめて素晴らしい景色。樹皮一枚で生きているスタジイ「根性のある木」を見て、これで生きてるのはスゴイと樹の生命力に驚きの声。高台を降りた谷津では、カキドオシ、コオニタビラコ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ、ムラサキケマン、アケビ等たくさんの植物。最後の花の丘公園ではホタルカズラの花。皆さんからは青紫の美しさと可憐さに感嘆の声があがり、盛り上がりました。

都市部のすぐ近くに残る貴重な里山で春を楽しむという通常より長めの3時間のコースで、観察するものも多く、少し時間を気にしながらの観察会となりました。参加者のアンケートでは「素晴らしいコースで楽しかった」「身近に自然が残っていることの大切さに気付いた、また参加したい」などの感想をいただきました。スコープを設置したり安全確認にご協力いただいたりと、お力添えをいただいた参加指導員の皆さんにも感謝申し上げます。



イヌシデの虫こぶを虫メガネで観察



宗像神社から印旛沼方面は 昔は香取の海でした